

令和4年度

試験名： 推薦入学試験

【 理工学群 社会工学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
設問 1	(ア) 32.9% (18,698.3 / 56,845.5) (イ) 9.3% (494.3 / 5,337.9)
設問 2	12 大都市を合わせると、全人口の約 4 分の 1 を占めているのに対して、従業者は約 3 分の 1 を占めていることから、 <u>12 大都市に人口の集中以上に従業者が集中している</u> ことが分かる。(82 字)
設問 3	他市の従業者比率と事業所比率は概ね等しいのに対して、東京都区部の従業者比率は事業所比率に比べて大きいことから、 <u>東京都区部に従業者規模の大きい企業等が集中している</u> 状況にあるとみられる。(91 字)
設問 4	分子 $(\frac{T_c}{\sum_{i=1}^{13} T_i})$: ある都市の産業大分類別従業者構成における産業 c の従業者比率 分母 $(\frac{S_c}{\sum_{i=1}^{13} S_i})$: 12 大都市計の産業大分類別従業者構成における産業 c の従業者比率
設問 5	情報通信業 : $V_9 = (810.7 / 7,550.4) / (1,259.8 / 18,698.3)$ $\approx 0.107 / 0.067 \approx 1.6$
設問 6	A : 大阪市 B : 仙台市 C : 東京都区部 D : 福岡市 E : 札幌市 F : 横浜市 G : 神戸市 H : 名古屋市 I : 広島市 J : 川崎市 K : さいたま市 L : 京都市
設問 7	産業 c に関して 12 大都市計に対するある都市の従業者割合が変わらなくても、その都市における他の産業の従業者が増えたり、12 大都市計の他の産業の従業者が減ったりした場合、その都市の産業 c の特化係数は小さくなる。(101 字)
設問 8	各観光地の居住地別・宿泊／日帰り別観光客数、国立大学の専門分野別教員数、レストランチェーン店のメニュー別売り上げ、衆議院議員選挙における各政党の都道府県別得票数、オリンピック・パラリンピックでの種目別メダル獲得数、など適切な例を用いて論述されていること。論述の問題に関しては、上記の解答でなくても、論理的に正しければ正解とする。